

シンフォニー

第 37 号
2017年 9月 September

発行/医療法人社団協会 彩の国東大宮メディカルセンター 編集/広報委員会
〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522 TEL.048-665-6111 FAX.048-665-6112 http://www.shmc.jp

特集

Feature Articles

JCI 取得への 取組み

院長
坂本 嗣郎



平成28年7月、日本医療機能評価機構の認定を更新し、当院としては3回目の取得となりました。今や認定は当たり前で、不合格となることが極めて稀です。認定は更新したものの院内にその成果が残らず、満たされない気持ちでいた頃、JCI (Joint Commission International) に関して、国際的な医療機能評価機構の取組みについて具体的に聞くチャンスがありました。兼ねてから興味を持って注目をしていましたが、実際の現場の話を聞いたとき、衝撃を受けました。なぜなら、患者安全に向かって病院の全てのスタッフが一丸となつて取り組む姿が評価され、更にその姿勢のみならず成果とその検証まで要求されるという極めてハードルの高い審査であることがわかったからです。しかし、逆に是非チャレンジしてみたいと思う気持ちが高まりました。平成28年10月に院内の幹部に相談をして承認を得ました。電子カルテの導入、病院の

新築移転、日本医療機能評価機構の受審を連続して経験してきた当院はJCIにチャレンジする能力がありそうだと思っていました。それから10か月、今までの院内の取り組みとは異なった総力戦が行われました。しかし、向かう方向が分からず、何から手を付けていいのか、世界基準の意味するところは何か、情報が極めてあいまいな中での取り組みでした。

批判や抵抗もありましたが、概ね職員の協力が得られ、平成29年7月24～28日の5日間、JCIの本審査を受けました。結果は合格でした。日本では24番目の国際基準を全うした病院として認定されました。今や当院は埼玉の一病院ではなく、欧米の病院と肩を並べる国際病院として胸を張って存在価値を示すことができます。取り組んでよかったと思えます。努力は無駄にならず、継承できる沢山の産物を手に入れました。当院の質の維持に一層の努力は必要ですが患者安全という最高の成果を目指して進んでいくつもりです。JCIの認定は上尾中央医科グループ内でもさらに拡大させ、先鋒となった当院の責任を果たしていきたいと考えています。



— JCI 認定プログラム —

病院、大学医療センター、外来診療、
臨床検査、在宅ケア、長期ケア、
医療搬送機関、プライマリーケアセンター

泌尿器科



泌尿器科
部長 佐藤 克彦

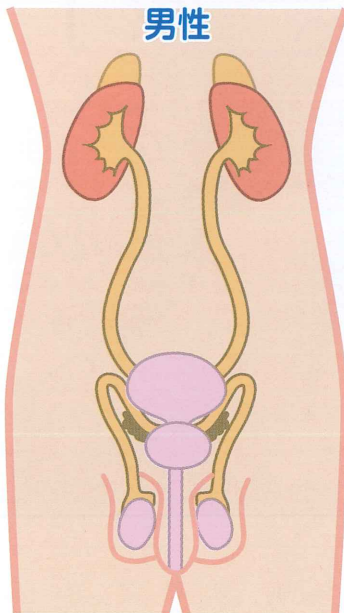
当科は2017年5月より常勤医師を2人増員し、4人体制で診療にあたっています。埼玉県内で泌尿器科腹腔鏡認定医が複数名在籍する医療機関は、数施設しかありません。さらに、4人全員が日本泌尿器科学会の指導医ですので安心して診療を受けて頂くことができます。



1 主な泌尿器科疾患

泌尿器科で扱う主な臓器は副腎、腎臓、膀胱、前立腺等多岐にわたります。

いくつか疾患を挙げます。



男性

腎がん

10万人当たりの発生率は、男性で7人、女性で3人ぐらいです。年々増加傾向にあります。

膀胱がん

肉眼的血尿で発見されることが多く、男性は女性に比べ4倍多いとされています。喫煙は本疾患のリスク因子の一つです。

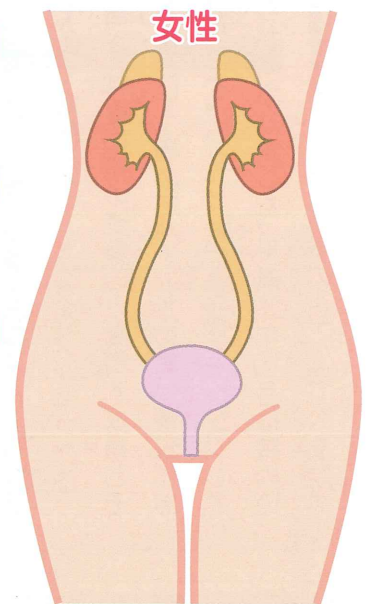
前立腺がん

近年もっとも増加しているがんのひとつとして注目されています。将来的には男性癌のうち、第一番目の罹患数になると予測されています。

骨盤臓器脱

肉眼的血尿で発見されることが多く、男性は女性に比べ4倍多いとされています。喫煙は本疾患のリスク因子の一つです。

その他 尿路結石、前立腺肥大症、尿失禁等があります。



女性

2 当科での取り組み

われわれは急性期病院として悪性疾患の治療を担う一方で、良性疾患の治療にも力をいれています。

良性疾患ではレーザーを用いた前立腺肥大症手術・尿路結石手術、女性骨盤臓器脱・尿失禁手術など、日本国内で一般的に行われている成人に対する泌尿器科手術のほぼ全てを施行することができます。

一方、悪性疾患では、最新の機器を用いた腎がん・腎盂尿管がん、副腎腫瘍の腹腔鏡手術、前立腺がんに対するミニマム創手術、膀胱がんに対する内視鏡手術・ミニマム創手術などができます。

また、当院では手術だけではなくがんに対する化学療法、分子標的薬治療、放射線治療を施行することが可能であり、早期から進行がんに至るまで集学的治療が可能です。当院泌尿器科では、「身体に優しい、低侵襲な治療」「機能温存」を心がけ最先端治療を提供いたします。





よりよい病院をめざして

がん相談支援センターの取り組み

「がん」というと、どのようなイメージを持たれますか？

最近ではマスコミなどでもがんに関わる話題が何かと報道されており、多くの方が将来の不安な病気、怖い病気というようなイメージをされるのではないのでしょうか。

しかし、医療は日々発展し、がんは早期に発見すれば治療できる病気になりました。手術や抗がん剤の治療を受けながら、お仕事を続け日常生活を送ることも可能となりました。一昔前と比べると、がんは慢性疾患と同じく、病気と上手に付き合いながら生きていく病気とも言えます。

がん診療連携拠点病院・埼玉県がん診療指定病院には、がん相談窓口の設置が義務化されており、当院のがん相談支援センターは相談窓口を開いて9年目になりました。

年間およそ800件のご相談に対応しております。相談として多いものとしては、緩和ケアのご相談、病気の診断や病気の症状に対するご相談、在宅医療や福祉のご相談、病気に対する不安、病気を抱えながらお仕事をされる際のご相談などがあげられますが、がんを患う友人への接し方のご相談や遠方に住む家族に何ができるかなど、相談内容は多岐に渡ります。

その1つ1つのご相談に対して、医療ソーシャルワーカーや看護師が、お話をじっくり伺い、その方の方に合わせた対応を心がけております。

ご相談は無料です。当院の通院の有無に関わらず地域の方々ができるがん相談センターとして機能しておりますので、是非お気軽にご相談ください。



がん治療センター
科長 佐山 順子



ご予約・
お問合せ

■がん相談支援センター IFがん治療センター内

TEL.048-665-6116 (直通)

まずは、お電話にて
ご予約ください。

月曜～金曜日 ▶10:00～16:00
土曜日 ▶10:00～12:00

初期研修医後回 当院入職

NEW FACE!
入職1年目

地域や患者さまにとって良い病院とは何でしょう？熟練した医師が多くいる、24時間365日いつでも医療の質が変わらない、患者さまやご家族に寄り添った看護を行っているなど、数多くあると思います。そのうちの一つに『若手医師の教育をしっかりと行っている』ということも私には考えます。若手スタッフの育成は、医療の質の向上にも繋がりますし、地域医療に貢献することが可能になると考えています。

私はこの病院で初期研修を積み、就職しました。その理由として、当院のスタッフは医師をはじめとした全ての職種の方々が、若手スタッフの育成に手間を惜しまないからです。私もそのような先輩方の姿に憧れ、自分も同じように新米スタッフたちと仕事をしていきたい、自分がさせていただいたことを同じようにしていきたい、そして、自分を育てて下さった、この地域の患者さまたちに少しでも貢献していきたいと思い、就職しました。

もし、病院で私を見かけた際には気付いたことなど、いつでも遠慮なく仰って下さい。なぜなら、スタッフにとって、一番のアドバイスは患者さまからの直接のお言葉です。お叱りの言葉でも喜びの言葉でも、直接お声をかけて下さい。私たちスタッフ一同、その言葉を真摯に受け止め、今後の改善に繋がりたいと思います。

まだ入職して1年目ですが、これからも皆様に『彩の国東大宮メディカルセンターがあって良かった。』と思って頂けるように、たゆまぬ研鑽を積んでいきたいと思っています。今後とも病院スタッフ一同よろしく申し上げます。



循環器内科医
村井 駿

患者教室のご案内 (ミニセミナー)

9月のスケジュール

9月の声をきき、朝晩、涼しさを感じる時期になりました。
散歩や運動、外に出るのが心地よい季節です。
体を動かし、おいしく食事をとりましょう。

21日(木)「おしこの薬」

むくみ予防や排尿困難のための薬、出過ぎてしまうのを抑える薬、いろいろな薬があります。それだけ病気(症状)があり複雑なんです。正しい飲み方を知ることが、治療の一歩です。

26日(火)「糖尿病教室」

～あらためて学ぶシックデイ 料理と看病の工夫～

10月のスケジュール

「スポーツの秋」到来。急な運動は逆に負担がかかり危険です。
日常的な運動を心がけましょう。

18日(水)「動脈硬化予防の食事」

動脈硬化は、脳梗塞や心筋梗塞などのような重篤な病気につながることもあります。食事で出来る予防を紹介。

19日(木)「喘息とくすり」

発作が起こらないよう、辛い発作時の対応ができるために、薬を理解し発作のない状況が長く維持できると良いですね。

24日(火)「糖尿病教室」

数字アラカルト

(平成29年4月～29年7月平均)

入院稼働率 …… 89.7%
1日平均入院患者数 …… 302.1人
平均在院日数 …… 15.1日
1日平均外来患者数 …… 680.7人
救急搬送件数 …… 533件/月
手術件数 …… 283件/月
紹介患者数 …… 912件/月

興味のあるセミナーに、
ご自由にご参加ください。

場所

2F エデュケーションセンター

時間

13時～

交通案内図



JR
宇都宮線・湘南新宿ライン・上野東京ライン
「土呂駅」東口より 徒歩約11分

東武アーバンパークライン
「大宮公園駅」より 徒歩約9分



自動車
首都高速埼玉新都心線「さいたま見沼」ICより 約18分
東北自動車道「岩槻」ICより 約21分



7月に受審して、当院はJCIを取得しました。

これは職員一丸となって取組んだ結果です。

今後はこの活動を継続し、さらなる飛躍を目指して行きたいと思いを。



医療法人社団協友会

彩の国東大宮メディカルセンター

〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522

TEL.048-665-6111 FAX.048-665-6112

彩の国東大宮メディカルセンター

検索